

日本学術会議 経済学委員会 経済学分野の参照基準検討分科会（第11回）  
議事要旨

日時 2014年4月24日（木）16:00-18:20

場所 日本学術会議6階 6-C(1)会議室

出席者 岩本委員長、奥野副委員長、池尾委員、岡崎委員、小西委員、筒井委員、久本委員、広田委員、宮川委員

オブザーバー 樋口美雄経済学委員会委員長

（欠席 多和田幹事）

資料

資料1. 前回議事要旨（案）

資料2. 参照基準案に対する諸学会の意見・要望のまとめ

資料3. 経済学分野の参照基準（分科会原案・第三次修正）

議題

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認を行った。

2) 参照基準（案）の検討

岩本委員長から、資料2「参照基準案に対する諸学会の意見・要望のまとめ」にもとづき、経済学分野の参照基準（分科会原案・第二次修正）に対する諸学会の意見・要望および今後の審議の方針について以下のように説明があった。

- ・第二次修正に対し、現在までに計19学協会から意見が寄せられた。なお、意見を出していない学会が多数あり、会員が1,000名を超える大規模な学会の多くが意見を出していない。分科会に寄せられた意見のみを反映して参照基準を修正することは、かならずしも学界の意見分布を適切に反映することにはならないおそれがある。
- ・参照基準案への全体的なスタンスについては、肯定的な意見が多く、容認・中立の意見がそれにつぎ、一部の学会からは批判的な意見があった。肯定的か批判的にかかわらず、学会の関心からの部分的修正の具体的提案がいくつかあった。諸学会の意見は多様であり、相反するものもあった。
- ・参照基準案は、学界内で一定ないし広く支持を得ているものと考えられる。修正提案も個別個所に関するものが大半であることから見て、ここからの大幅な改訂は必要なく、大筋で第二次修正に沿ったものでまとめるかどうか。
- ・学会からの意見に対する分科会の対応としては、個別の修正提案の採否を検討する。

その際には、学会の意見の多様性を踏まえて、学界全体での支持がより広がる方向に参照基準案を修正することを方針としてはどうか。

- ・学協会の意見はこれまでに分科会委員に回覧し、その内容についてメールによって議論を重ねてきた。資料2の内容についても、事前にメールによって審議してきた。以上の内容は、4月11日開催の経済学委員会で分科会の審議経過として報告された。
- ・学協会の意見およびメールによる審議に基づき、分科会での審議のたたき台として「分科会原案・第三次修正」を資料3として作成した。

分科会は資料2で示された方針を了承し、資料3「経済学分野の参照基準（分科会原案・第二次修正）」について審議をおこない、下記の修正を施した上で分科会案としてとりまとめることとした。

## 2節

- ・「貧困のような形で、」を「貧困のような形で、」に。
- ・「同じではないが、」を「同じではないが、」に。

### 3（1）節

- ・「経済制度あるいは法制度」を「経済制度や法制度」に。
- ・「他方」を「また」に。

### 3（2）節

- ・「経済学は」を「経済学が」に。

### 4（1）節

- ・「一つの重要な要素であるところの」を「主として」に。
- ・「結果を予測」を「結果がインセンティブによってどう変わるか」に。
- ・「欠陥に気づく」を「欠陥を認識する」に。

### 4（2）節

- ・「経済問題が政治問題や倫理問題と結びついているような場合」を「経済問題が正義や公平の議論と深く関わっている場合」に。
- ・「民主的な討議プロセスや倫理的要素の考慮を視野に入れた総合的な視点が培われる」を「そのような問題を解決するために必要な、民主的なプロセスや価値観に関わる要素を考慮した総合的な視点が培われる。」

## 5節

- ・「：TA」を「(TA)」に。
- ・「学部生によるピアサポート」を「成績優秀学部生によるスチューデント・アシスタント (SA) による学生の学習の補助」に。
- ・「TA」を「TA（またはSA）」に。

### 6（1）節

- ・「資本主義的な市場経済」を「市場経済」に。
- ・「検討してゆく」を「検討していく」に。
- ・「捉えることは」を「捉える姿勢は」に。
- ・「必須」を「大切」に。

#### 7節

- ・「それなりの数学の」を「一定程度以上の数学の」に。
- ・「それは、実際の学部学生の能力にそぐわない要求になることが多いため、大学院レベルでは数学を多用して教育が行われる。」を削除。

#### 参考資料1

「[P]」を「決定」に。

#### 3) 今後の進め方について

分科会は、分科会案を査読のプロセスにかけることとした。

今後の査読プロセスで出る意見への対応については、分科会役員に一任することとした。